

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	遊栗館管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課		電話番号(内線):	572
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者:	平井 隆雄
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般市民・都市住民			
根拠法令等	伊予市なかやま地域資源活用工房施設条例、同条例施行規則			
事業の目的	地域資源を積極的に活用し、農山村特有の食文化の創造及び特産品の開発研究、展示販売等を行うことにより都市住民との交流を促進し、市の活性化に資する。			
事業の内容	指定管理の下、施設の維持管理、利用許可に関すること 地域資源を活用した食文化の創造、特産品の開発研究、展示販売			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	観光パンフレット等によるPR活動を積極的に行うとともに、イベント実施により来客者の増加を目指す。			
改善策の 具体的 取り組み	利用者のニーズに応じたバイキングメニューの見直しを行うとともに、栗の里公園内の観光施設(花の森ホテル、フラワーハウス)と連携して、集客向上を図る。			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	4,754	3,900	3,300	3,783
	人件費	488	556	278	556
	合計	0	4,456	3,578	4,339
人件費 内訳	人工数	0.06	0.07	0.04	0.07
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	488	556	278	556
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,242	4,456	3,578	4,339

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
利用者人数	人	13833	18000	5794	9930

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	3,964	3,900	3,900	3,900	3,900	19,564

成果指標				
成果指標	利用者人数			
指標設定の考え方	施設利用の効果の判断基礎となる入場者数			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	18000	18000	15000	0
実 績	13833	9930	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	2	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	ランチタイムだけの営業のため来場者の増加につながりにくいのが実情である。リピーター客や新規顧客獲得のための魅力あるメニューを提供しなければ、今後も利用者数は減少することが予想される。早急な対応が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	D
		成果向上の可能性	2	
		施策への貢献度	2	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成25年度中に経営者が代わったが効果が見られない。自主企画や周辺施設と連携しながら、PRを積極的に行い集客を図っていく必要がある。指定管理施設であり、今後の対応について検討が必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	施設完成後、20年余り経過していることから、今後は、施設の修繕・改修の頻度も多くなると予測されることから、計画的に実施する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。